



Sabae Rotary Club

R | 第2650地区 2020-2021年度 鯖江ロータリークラブ

2020-21年度 国際ロータリーテーマ

2019-20年度 第2650地区スローガン



ロータリーは
機会の扉を開く

ロータリーの原点に戻る

誠意をもって語り合い、勇気をもって共に未来へ



鯖江ロータリークラブ会長方針

こころ一つに
手と手繋いで

会長 野中 敏昭

第2965回
3/12(金)

3月第2例会

点鐘:12:45

テーマ「海外の視点から見たジェンダー平等」

鯖江市地域おこし協力隊

卓話 川口 サマンサ 様

第2966回
3/19(金)

3月第3例会

点鐘:18:30

RACとの合同夜間例会

テーマ「ローターアクトの活動について」

地区ローターアクト代表

卓話 小川 祐輝 様

第2967回
3/24(金)

3月第4例会

点鐘:12:45

テーマ

未 定

卓話

4つのテスト

- ① 真実かどうか
- ② みんなに公平か
- ③ 好意と友情を深めるか
- ④ みんなのためになるかどうか

出席率65.7%

3/12(金)
第2965回
例会報告

鯖江商工会議所 4階大ホール

開 会 点 鐘
四 つ の テ ス ト
ロ タ リ ー ソ ン グ
会 長 の 時 間
幹 事 報 告 等
プ ロ グ ラ ム
閉 会 点 鐘

ロータリーソング

我等の生業

口ずさむ程度にお歌いください。

会長の時間



野中 敏昭 会長

皆様こんにちは。
3月「弥生」、春に近づいていく季節でもあります。冬のなごりと春の兆しが見え隠れする、まさに冬と春の間の季節です。寒さもゆるみ、少しずつ過ごしやすい季節となりました。3月11日は、WHOがパンデミック宣言してから1年、東日本大震災から10年と 世界的にも日本にとっても、忘れられない日であります。

さて、資本主義の終焉が叫ばれる今、資本主義とはいつどのように？と考えてみますと？産業革命によって封建主義から、だんだん資本主義に変わってゆくのですが？

資本主義とは産業革命後の社会における資本家と労働者による経済体制のことで、資本家対労働者の対立の構図だと考えられて

きました。しかし、20世紀の後半すなわち第二次世界大戦後になると、資本家対労働者という対立の構図の中に、第三の存在とも言える経営者が入ってきます。資本主義の初期には、資本家が経営者を兼ねていました。

さらに、グローバル時代に突入して企業が国際化すると、資本家対経営者対労働者という、三者対立の中に、第四の存在ともいうべき、投資ファンドに代表される疑似資本家が増えてきて、資本家、経営者、疑似経営者、労働者の四極対立の構図になるわけです。この四極対立の構図のことを新資本主義と表現しています。

投資ファンドは金を儲けることを唯一の目的にしていますから、その資金をレバレッジなどの技法を使って何十倍いや何百倍にも増幅させて、オイル、穀物、不動産などあらゆるバブル景気を作りました。

こういった新資本主義を許したのがアメリカのロータリアンを基盤にした共和党政権であり、日本の経済界もこれに追従していたわけです。この頃から、資本家対労働者という基本的な対立の構図の中に、労働者対労働者という新たな対立の構図が現れます。それは正規雇用者対非正規雇用者の対立です。すなわちニートとかフリーターとか言われる非正規雇用者と、従来からの終身雇用制の中にいる正規雇用者です。これは企業がグローバル競争に勝つために、有能な人たちはしっかり確保する代わりに、単なる労働力として使う人々を雇用調整の道具として低賃金で雇うというものです。さらにもっと大きな変化が起ころうとしています。それは非正規雇用者よりもっと低賃金で雇用することができる移民労働者の存在です。アメリカやヨーロッパではさして珍しいことではありませんが、日本でも、日系ブラジル人労働者やインドネシアやフィリピンからの看護師など今後避けることができない問題となることでしょう。

かつて私たちは、陰日な顔に汗しながら、もくもくと働く姿を尊いものだと教えられてきました。企業は

永年雇用、年功序列を原則とし、労働者は企業に忠誠を誓うことを当然だと考えてきました。しかし新資本主義が闊歩しだした昨今ではその考え方が大きく変化してきました。また、労使の目的意識が変化し、雇用体系も変化してきました。労働者側も効率よく働くことが美德とされ、生活費を稼ぐのに必要な時間だけ働いて、余暇を楽しむという風潮さえ生まれました。職業に関する目的も大きく変化し、企業は利益の追求を第一義に考えて会社を運営し、労働者は高い収入を得ることを第一義に考えて働くようになってしまいました。

何れの生きざまが正しいのかは、判断し兼ねます。ただ、企業経営に関しては、すべての規制を外して市場の原理に任せ、さらに倫理感による規制を排除すれば、究極の拝金思想に走った何でもありの弱肉強食のハゲタカの社会、すなわち新資本主義に陥ることが実証されました。しかしその虚構の何百倍もの借金を残して世界的な不況をもたらして崩壊することも同時に学んだのです。

ロータリーの職業奉仕の理念は、アーサー・フレデリック・シェルドンが提唱した企業経営の理念を踏襲したものであり、自分の利益を優先するのではなく、自らの職業を通じて社会に奉仕することによって、その見返りとして適正で継続的な利益が得られることを説いているものです。当然のことながら、ロータリーの職業分類の中には自らの利益のために他人の資本を活用する投資ファンドのような疑似資本家は含まれておりません。サブプライム・ローン問題に端を発した世界経済恐慌という大きな代償を払って、やっと全世界の職業人が新資本主義に疑義を感じ始めた今こそ、ロータリアンは経営者の立場から、株主や従業員はもちろん同業者や顧客も満足するような職業奉仕理念を根底にした、正常な企業経営ができるように、リーダーシップを発揮すべきではないでしょうか。

鯖江市地域おこし協力隊

卓話 川口 サマンサ 様

テーマ 「海外の視点から見たジェンダー平等」

梅田吉臣 プログラム委員長

サマンサ様には手違いで、28日のところ27日と伝えてしまい、せっかくご準備頂いたのですが申し訳ない事をしてしまいました。本日は、「海外の視点から見たジェンダー平等」という事で卓話をお願いいたします。どうぞよろしくお願いいたします。

卓話 鯖江市地域おこし協力隊 川口 サマンサ 様
テーマ 「海外の視点から見たジェンダー平等」

本日は、このような機会を頂きありがとうございます。

私はカナダ生まれ27歳で、平成23年に高校を卒業後来日しました。平成25年にNPO国連の友Asia-Pacificに入所し、現在も所属しています。令和2年地域おこし協力隊として鯖江に移住してきました。

私が約10年前にカナダから来日し、2020年10月まで東京で暮らして様々な活動に携わってきました10年間で、数え切れないほど「あなたは何しに日本へ?目標は?」と日本の方から聞かれましたが、その質問をされるたびに少し困りました。「物心がついた頃から日本に憧れていたんで、ただただ住んでみたくて来ちゃいました。でも特にやりたいことがなくて…」と半笑いしながら答えると、どうも納得が行かないと言わんばかりの反応が返ってくるのが多々でした。最近までは、この典型的な会話のせいで私は長い間もやもやしていました。鯖江への移住のおかげで、自分自身でも納得ができる「目標」を見つけることができました。

やっと見つけたその目標は、**人のためになる活動**です。

私は高校のときに、ジェンダー平等やフェミニズム運動など、あらゆる人権問題に関心を持ちはじめました。しかし世界のことを知れば知るほど理不尽な社会に腹が立ち、「脆弱な立場にいる人たちのためになんとかしたい!社会の理不尽な秩序を変えたい!」と思っていましたが、鯖江と出会うまではその気持ちのやり場が分からず、途方に暮れていました。

2030年までに社会・経済・環境などの世界の課題に取り組み、より良い世界をつくるために国連が定めた目標「SDGs」(Sustainable Development Goals=持続可能な開発目標)の17の目標の一つに、目標5「ジェンダー平等を実現しよう」という目標があります。

ジェンダー平等は簡単そうで実に難しい課題です。国際経済フォーラムが「ジェンダーギャップ指数」という各国のジェンダー格差を図るレポートを公表していますが、2020年版では日本は153カ国中に121位でした。G20諸国で最下位です。また、日本も海外も、ジェンダーによる不平等な役割分担や賃金格差、政治における女性の過小評価、そして単なるジェンダー偏見などの幅広い問題が沢山存在するのが現状です。これらの問題には様々な要因があると考えられますが、その要因の一つは「意識」です。



私は、社会のほとんどの課題の発端は「意識」だと考えています。日本と海外はジェンダー平等の実現を妨害する共通の問題を抱えているにも関わらず、日本と海外のジェンダー平等の進捗状況が異なっており、大きな違いとして見受けられるのは、問題を意識しているかどうかというところから始まっています。

国連本部SDGs推進会議(2018年)に牧野前市長が出席し、成功事例として鯖江市の取組を発信しました。それで、2019年12月にチャウドリー大使が鯖江を訪問し、チャウドリー大使の要請を受け、鯖江市においてSDGsを発信する施設を設置することになりました。それが、**さばえSDGs推進センターの誕生**です。行政、企業、国際機関等、あらゆる人々が連携し、市民一人ひとりが行動できるようなSDGsの拠点がセンターの役割です。

活動内容は、◎中村勘九郎親子の『よくわかるSDGs 地球直直し!未来を守る知恵』NHK Eテレで全国放送出演!! ◎センターでプログラミング教育 ◎ふるさと学習などの教育などです。

ジェンダー平等ってなに?

世界経済フォーラム(World Economic Forum)が2019年12月、「Global Gender Gap Report 2020」を公表し、その中で、各国における男女格差を測る**ジェンダー・ギャップ指数**(Gender Gap Index:GGI)を発表しました。

この指数は、経済、政治、教育、健康の4つの分野のデータから作成され、0が完全不平等、1が完全平等を示しています。それによると、1位はアイスランド... (英語圏)...106位中国...**121位日本**...で、**153カ国中、121位**でした。また、**女性国会議員比率、193カ国中165位:G20諸国で最下位**で、まだまだ日本の政治は男社会だと言えます。

社会構造・文化習慣による性差別及び性別不平等(共通)

◎**家庭**:家事・育児:役割分担が不平等、社会の男女役割に関する偏見

◎**仕事**:賃金・昇進の男女格差、セクシャルハラスメント

◎**健康**:避妊対策、性教育

◎**暴力**:被害者を責める傾向、暴力を「しない」ようではなく、「**されないように**」教えられる

◎**政治**:政治業界における女性の過小評価

◎**社会**:ダブルスタンダード(二重基準)、女性の性的モノ化と女性の自己肯定感、女性蔑視

皆が意識を変えるだけで、理想の社会に近付くことは決して無理なことではないと思います。そして幸いなことに、意識はいつでも誰でも、自分次第で変えられるものです。「**意識を変え、自分の周りを見直すことでジェンダー平等への第一歩を踏み出して**みてはいかがですか。

幹事報告

瀧ヶ花 秀晃 幹事

・来週は鯖江ローターアクトクラブとの合同夜間例会は、18:30から當田屋さんに於いて地区ローターアクト代表の小川様に「ローターアクトの活動について」卓話いただきます。

・4月4日の地区大会は、各クラブの会長・幹事、RAC会長、地区役員が出席します。(京都開催)

・家庭会合は、コロナ禍の様子を見て3月後半から4月頃に開催出来たらと思います。

にっこりBOX報告

野中 敏昭 会員 ようこそサマンサ様 やっとお会いできました。卓話を楽しみに

帰山 明朗 会員 先週は誕生祝をありがとうございました。川口サマンサ様をお迎えして

梅田 吉臣 会員 川口サマンサ様の卓話を楽しみに

窪田 健一 会員 //

齋藤 多久馬 会員 //